

「〇〇の秋」あなたにとっては？

文責 学校長



～明日からは定期考査（中間・学年末）が始まります～

10月になり、過ごしやすい季節になりました。「〇〇の秋」とよく言われますが、今のあなたにとっては「芸術の秋」、「学問の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」、「実りの秋」、そして「食欲の秋」のいずれですか？

1 定期考査の勉強と新人戦の練習・大会との両立を図ろう。

明日（10/12）から1・2年生は中間考査、3年生は学年末考査が始まります。1・2年の部活動生諸君でこれから大会やコンクールが控えている人は学業と部活動の両立の真価が問われます。強い心で文武両道を果たしてくれることを期待しています。また、3年生は**高校生活最後の定期考査**となります。計画的な学習で自分史上最高の結果を出せるよう頑張りましょう



2 生徒会長選挙を行いました。新生徒会長は川崎秀智くん（2-3）に決まりました。

後期生徒会長選挙に7名が立候補者し、朝の挨拶・選挙活動を経て、10月6日（木）に後期生徒会長立候補者による立会演説会（リモート開催）を行い、その後、投票を行いました。開票の結果、**川崎秀智くん**



（2-3）が新生徒会長に当選しました。**陸上3冠**に輝いた新生徒会長のダッシュ力・企画力・発想力に期待します。

3 今週の名言・・・パウロ・コエーリョ（作家・ブラジル）の言葉です。

〇完全に間違っているものなんて世の中には存在しない。止まった時計ですら1日に2回は正しい時間を指すんだから。

〇一つだけ忘れないで欲しい。あなた方はみんな、自分で思っているよりも、ずっとすばらしいということ。

【解説】一つ目の言葉「壊れた時計も一日に二回は正しくなる」とは、たとえ壊れて動かなくなった時計でも、1日に2回は最後に止まった時刻に重なり、正しい時刻を指示します。このことから、あんまり賢くないような人物でも、たまには偶然に正しいことを言ったりすることがあるという意味です。二つ目の言葉は、人は自分という存在の素晴らしさ、才能を過小評価しがちであり、そのことに気付くべきだということ。

【パウロ・コエーリョについて】ブラジルのリオ・デ・ジャネイロに生まれる。大学の法学部に進学するも、1970年、突然学業を放棄して、旅に出る。メキシコ、ペルー、ボリビア、チリを経て、ヨーロッパ北アフリカにも足を伸ばす。2年後、ブラジルに帰国して、流行歌の作詞を手がけるようになり、人気歌手ラウル・セイシャス（英語版）に詞を提供する。また、グロリア・ゲイナーの I will survive の歌詞をポルトガル語に翻訳、ブラジル歌手のヴァヌーザ（英語版）がこれを歌った。74年、ブラジルの軍事独裁政権に対する反政府活動に関与との嫌疑を受け、短期間投獄される。その後、しばらくレコード制作を手がけるが、79年、再び仕事を放棄して、世界を巡る旅に出る。87年、『星の巡礼』を執筆刊行して、作家デビューを飾る。これは彼がスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへいたる巡礼の道を歩いた体験を下敷きにしたもの。この本はあまり大きな成功をもたらさなかったが、翌年の88年に出版した第2作『アルケミスト - 夢を旅した少年』はブラジル国内で20万冊を超えるベストセラーとなり、38カ国の言語に翻訳された。07年のアンデルセン文学賞など、世界中の国々から様々な文学賞を受賞している。（参考：「Wikipedia」より）

4 今週の話事成語・・・「九仞の功を一簣に虧く」 【問題】英語で表現すると？

事が今にも成就するというときに、手を抜いたために物事が完成しない、または失敗すること。

（出典：『書経』より）

【由来】「仞」（じん）は古代中国の高さや深さの単位で、「九仞」は非常に高いという意味。「簣」（き）は土を運ぶかご。もっこ。「虧く」（かく）は損なうこと。高い山を作るのに、最後にもっ一杯の土を欠けば完成しないことからできた言葉です。『書経・周書』に「山を為ること九仞、功一簣に虧く」とあるのに基づきます。

5 入試によく出る漢字（最重要漢字ベスト100）その1・・・この漢字書けますか？

今週から新コーナー「入試によく出る漢字」をスタートしました。いくつ書けるかチャレンジしてみましょう？

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| ① <u>イゼン</u> として状態は変化しない。 | ② 常軌を <u>イツダツ</u> した行為だ。 | ③ 多くの <u>ギセイ</u> を払って完成した。 |
| ④ 採点の <u>キジュン</u> を明確にする。 | ⑤ 実験の結果から法則を <u>キノウ</u> する。 | ⑥ 身体の <u>キノウ</u> が低下する。 |
| ⑦ 空気が <u>キハク</u> で息苦しい。 | ⑧ 性格に <u>ソヤ</u> なところがある。 | ⑨ できるだけ <u>ベンギ</u> は図ります。 |
| ⑩ 地震で建築物が <u>ホウカイ</u> する。 | ⑪ 顔の <u>リンカク</u> が母に似ている。 | ⑫ 生活に <u>ヨユウ</u> が感じられる。 |
| ⑬ こんな事は特別で <u>フヘン</u> 性がない。 | ⑭ <u>トウテツ</u> した理論で実に明瞭だ。 | ⑮ 決心がつかず心が <u>ドウヨウ</u> する。 |
| ⑯ 実力を <u>ハッキ</u> する。 | ⑰ 口では言えない <u>ビミョウ</u> な違い。 | ⑱ 彼は <u>ドレイ</u> を解放した。 |
| ⑲ 彼は現代っ子の <u>テンケイ</u> だ。 | ⑳ 日本文学の <u>セイズイ</u> は源氏物語にある。 | ㉑ 他国の文化を <u>セッシュ</u> する。 |
| ㉒ 一つのことに <u>シュウチャク</u> する。 | ㉓ 失敗して自信を <u>ソウシツ</u> する。 | ㉔ 天地を <u>ソウゾウ</u> した神。 |
| ㉕ 結婚を <u>ゼンテイ</u> とした交際。 | | |

6 今週の一冊・・・石沢麻依の『貝に続く場所にて』（講談社）です。

第165回芥川賞受賞！第64回群像新人文文学賞受賞のデビュー作。コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合う。ドイツの学術都市に暮らす私の元に、震災で行方不明になったはずの友人が現れる。人と場所の記憶に向かい合い、静謐な祈りを込めて描く鎮魂の物語。（参考：本書裏表紙説明より）

【解説】著者・石沢麻依にとってのデビュー作で、第165回の芥川賞受賞作です。図書館に入れていただきましたので、早速読んでみました。主人公の「私」は東日本第震災の体験者ですが、津波による被災は免れた内陸部出身という設定になっています。現在はドイツに移り住んで暮らす主人公の前に行方不明になったはずの友人が訪ねてくることになり、それは決して実体を伴ったものではなく、「私」が観念として在らしめているという摩訶不思議なストーリーが描かれます。9年前の震災時の被災地の光景が「私」の目を通してリアルな心象風景として描かれる一方、現在のゲッティンゲンでの暮らしが、複雑に絡み合いながらも淡々と描かれていきます。芥川賞に選ばれるに相応しい情景描写や心象風景のその表現力には脱帽です。ただし、「」の表記が一切なく全て地の文で書き綴られていますので、読み続けるには忍耐力と覚悟が必要です。

【作者・石沢麻依について】1980年、宮城県生まれ。東北大学大学院文学研究科修士課程修了。現在、ドイツ在住。2021年、「貝に続く場所にて」で第64回群像新人文文学賞を受賞。同作が第165回芥川賞候補作となる。（参考：本書表紙裏の著者紹介文より）

7 世界遺産を巡る(海外編)・・・第26回はモン・サン＝ミシェルとその湾（登録：1979年）

【解説】前回で日本編を紹介し終わりましたので、今回から海外の世界遺産の人気スポットを紹介していきます。モン・サン＝ミシェル（Mont Saint-Michel）は、フランス西海岸、サン・マロ湾上に浮かぶ小島、及びその上にそびえる修道院です。モンサンミシェルとも表記されます。カトリックの巡礼地のひとつであり「西洋の驚異」と称され、1979年には「モン＝サン＝ミシェルとその湾」としてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録され、1994年10月にはラムサール条約登録地ともなりました。「西洋の驚異」や「海上のピラミッド」と呼ばれるモンサンミシェルは16世紀に完成したフランスで最も有名な巡礼地です。モンサンミシェルは「フランスのサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」という世界遺産の一部としても登録されています。対岸の町アヴランシェの岸から約5km、砂丘にそびえる円錐型の花崗岩の「山」にモンサンミシェルはあります。かつては干満の差が激しく、満潮時には周囲900mの山は海に囲まれ、人が近づくことを拒みました。中世の巡礼は困難な旅だったようです。（参考：『世界遺産人気ランキング』より）



8 街角グルメを訪ねて・・・第26回は伊万里市の「とき里」です。

感染状況がやや落ち着いてきましたので、武雄近郊の店を紹介していきます。伊万里の人で知らない人はいない名店が「とき里」です。現在の場所に移転する前は、中心街にあり、伊万里高校に練習試合に行った時などによく立ち寄っていたお店です。そばとカツ丼のイメージが強かったお店ですが、現在の地に移転して日本的な家屋で駐車場も広く、のんびり食事することのできるいい雰囲気のお店になりました。メニューも豊富になり、家族で訪れるお客さんが多く、休日は駐車場も満杯になる人気店です。井ぶりメニューやフライランチも人気で、サイドメニューを単品でつけることも出来ますが、私のお勧めはやはりカツ丼とそばのセットです。（定休日：年始・第3日曜日）



9 保護者の皆様へ・・・「武雄市報」に「高校生まちづくり参画事業」の記事が掲載されました。

「武雄市報」の10月号に「武雄市高校生まちづくり参画事業」の生徒たちの取り組みが掲載されていますので、ご覧ください。配付エリア外のご家庭は武雄市のホームページで見ることが可能です。ぜひご覧ください。

◇学年保護者会を開催します。

- 1・2年の保護者会を開催します。ご参加ください。
- 1年保護者会・・・10月22日（金）19：15～
来年の文理コース選択の説明をします。
- 2年保護者会・・・11月 4日（木）19：15～
修学旅行（12月14日～17日）と来年度のクラス編成の説明をします。

まちづくりはオクトパス
高校生まちづくり参画事業

武雄市報10月号に掲載された記事のスクリーンショット。左側には「まちづくりはオクトパス」という見出しがあり、右側には「武雄市報10月号に掲載された記事のスクリーンショット」の文字がある。記事の内容は、高校生まちづくり参画事業に関するものである。

優秀賞

入選

大賞

武雄市報10月号に掲載された記事のスクリーンショット。左側には「優秀賞」と「入選」の文字があり、右側には「大賞」の文字がある。記事の内容は、高校生まちづくり参画事業に関するものである。

【英語】◇ to fail one step short of great success ◇ to fall at the last hurdle
【正解】①依然 ②逸脱 ③犠牲 ④基準 ⑤帰納 ⑥機能 ⑦希薄 ⑧粗野 ⑨便宜
⑩崩壊 ⑪輪郭 ⑫余裕 ⑬普遍 ⑭透徹 ⑮動揺 ⑯発揮 ⑰微妙 ⑱奴隸 ⑲典型
⑳精髓 ㉑摂取 ㉒執着 ㉓喪失 ㉔創造 ㉕前提 ※「喪失」の「喪」の書き方に注意！